

資料編

リスクチェックシート

リスクの管理ができているかチェックしてみましょう。

カネ

- 資金の管理はきちんとできていますか？
- 現金や帳簿はきちんと保管されていますか？

ヒト

- 就業規則はありますか？
- 大切な契約は文書で交わしていますか？
- ボランティア保険等に参加していますか？

モノ

- 法令遵守はできていますか？
- 個人情報 はきちんと管理されていますか？
- 活動場所の安全は確保できていますか？

協働提案シート（市民向け）

提出年月日	平成 年 月 日
提案団体名	
担当者（連絡先）	（ ）

事業名	
-----	--

基本的な内容	実現したいこと （目的）	
	だれを対象に？	
	いつからいつまで？ （期間）	
	事業内容 *書ききれない時は、別紙をつけてください	

今の組織でできる役割は何ですか？ （自分の組織の強み）	
協働のパートナーに望む役割は何ですか？ （パートナーに期待する強み）	
その他、協働のパートナーに伝えたいこと	

協働適正チェックシート（市民向け）

協働適性チェックシート（市民団体編）

記入年月日		団体名	
事業内容			

事業を始める前に考えよう	チェック項目	○・×	内容
	団体の目的を達成できるか		
	自らの特性を生かせるか		
	地域の高いニーズがあるか		
	構成員の思いは統一されているか。		
	協働のデメリットはあるか		
	協働のメリットはあるか		
	効果的な協働方法はあるか		
	団体の現在の活動に支障はないか		
	新設あるいは改善したいサービスがあるか		

協働を実施するときの確認シート（市民・行政共通）

作成 No.		作成年月日	平成	年	月	日
確認者	団体		協働パートナー			

事業名	
-----	--

基本的な内容	実現したいこと （目的）	
	目標	
	だれを対象に？	
	いつからいつまで？ （期間）	
	事業内容 *書ききれない時は、別紙で作成しましょう	

役割分担	団体	
	協働のパートナー	
お金の負担	団体	
	協働のパートナー	
その他の取り 決めごと （リスクの管理など）	*具体的項目を記入	
担当者 （連絡先）	団体	
	協働のパートナー	

協働提案シート（行政向け）

作成年月日	平成 年 月 日
担当課（連絡先）	（ ）
担当者	

事業名	
-----	--

基本的な内容	実現したいこと （目的）	
	だれを対象に？	
	いつからいつまで？ （期間）	
	事業内容 *書ききれない時は、別紙をつけてください	

行政ができる役割は何ですか？ （自分の組織の強み）	
協働のパートナーに望む役割は何ですか？ （パートナーに期待する強み）	
その他、協働のパートナーに伝えたいこと	

協働適性チェックシート（行政向け）

協働適性チェックシート（行政編）

記入年月日		所属	
事業名		協働のパートナー	

事業を始める前に考えよう	チェック項目	○・×	内容
	行政が関わるべき事業か		
	市民の高いニーズがあるか		
	既存の事業で対応できない事業か		
	パートナーが必要な事業か （市が単独で行った方が効果がないか）		
	協働のデメリットはあるか		
	協働のメリットはあるか		
	効果的な協働方法はあるか		
	地域の実情に合ってるか		
	パートナーの特性を生かせる事業か		

おわりに

■進化途中であることがこのマニュアルの最大の特徴です

今回は、平成 23 年 3 月 31 日に初版として発行しました。

長岡京市職員で構成する「市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）」を中心に、研究活動を重ねて作成した段階です。

これから、約 1 年間をかけて、このマニュアルが本当に市民のみなさんや市職員の役に立つものであるかどうか、検証していきます。

さまざまな担い手が協働し、事業を展開していく中で「マニュアルには A と書いてあるけど、実際は B だった。」という事例もたくさん出てくることが予想されます。このような事例も含め、修正すべき箇所については、現状に即したものに修正し、みんながより使いやすい協働マニュアルに進化させていく必要があります。

ようやく完成したとはいいいながら、生まれたばかりのマニュアルです。

協働マニュアルを手にとられた方で「ここはこういう風に直した方が良いのではないか」などのご相談やご希望につきましては、事務局まで遠慮なくご連絡ください。みなさんとの「協働」でこの「協働マニュアル」は完成に近づきます。

みなさんの知恵と力をお借りして成長していきますので、ご理解とご協力、温かい見守り、叱咤激励など、どうぞよろしくお願いいたします。

🍷 このマニュアルは、平成 22 年 3 月に策定した「長岡京市市民協働のまちづくり指針」、平成 23 年 3 月に策定した「長岡京市市民協働のまちづくり推進計画」に基づき、協働が実践される際、実用的に活用されることを目的にして作成したものです。

🍷 今後、協働の実践を踏まえて、おおむね 2 年ごとに成長（更新）させていく予定です。

これからの協働

「市民協働のまちづくり」を進めていくためには
市民と行政の双方が一緒になって考え
ともに取り組んでいかなければならない課題がいくつもあります。
しかし、忘れてはいけない大切なことは
まちづくりに関わるすべての人たちがまちを愛し
自分たちのまちを共に育てていくという気持ちを持つことです。

市民活動団体、学校、企業、行政など、様々な活動主体がありますが
全てのもとには個人です。
市民協働のまちづくりを進めていくにあたっては
一人ひとりが「協働」に対して知識と意識を持つことも
大切な要素のひとつです。

知識と意識を得て、市民活動を始めてみたいと思う人が増えますように…
市では、始めてみようと思った人が
気軽に参加できる環境と仕組みも、整えていきます。

協働をもっと知りたいと思う人が増えますように…

市では、協働の現場を体験して、やりがいを感じられる機会もつくっていきます。

他の団体や行政と協働してみたいと思う人が増えますように…。

市では、交流の機会やコーディネートの方もつくっていきます。

協働をずっと続けたいと思う人が増えますように…。

市では、長岡京市らしい、協働のあり方を常に考え続けていきます。

今後、この「協働マニュアル」を、みんなで育てていくことで

たくさんの人たちにうまく活用され

人と人がつながって

みんなでまちづくりを進めていけますように…。



市民協働マニュアル（初版）

発行：平成23年3月31日

発行元：京都府長岡京市

市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）

企画部市民参画協働政策監

京都府長岡京市開田一丁目1番1号

電話：075-955-3164 ファクス：075-951-5410

電子メール：shiminsankaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp